

# ワールド・フード・インディア2017

# フードバリューチェーンで日印連携



ワールドフードインディア2017の展示会場ゲート

## 13億人市場へ挑戦を

「メイク・イン・インド」を提唱する Narendra Modi 首相主導の国際食品・飲料・加工機械技術展「ワールド・フード・インディア2017」が3～5日、ニューデリーで初開催された。日本からは谷合正明農林水産副大臣、平松賢司在特命全権大使らが日本主催のセミナーや農林水産省主催の日・インド官民合同作業部会、ジャパン・パビリオン開会式などに参加し、両国のさらなるビジネス構築を図った。また、「ジャパン・パビリオン」出展企業やインド市場進出検討中の企業を対象に実施された現地視察とセミナーを通じて、農林水産省が推進する「グローバル・フードバリューチェーン」戦略を元に、インドでの事業展開に向けた市場の把握、人的ネットワークの構築、インド側へのPRなどが精力的に行われた。

(国際事業部・内田美帆)

インド食品加工産業 興隆を促す。日本食糧省・インド工業連盟主催の「ワールド・フード・インディア2017」は世界50カ国を超える経営陣と60カ国以上からの来場者、インド国内から26州府が結集し、400以上の企業・団体がブースを設けた。パビリオン・インドとして日本、ドイツ、デンマークが支援した。モディ首相は3日の開会式に出席し、日印国際産業振



にきわいを見たジャパンパビリオン開会式でテープカットをする谷合正明副大臣と平松賢司大使

## ジャパニオン大盛況

### ASEANの食産業人材育成

日系食品企業の進出が加速する東南アジア諸国連合(ASEAN)では、農林水産省が食産業人材育成に向けた事業を15年から開始。フードバリューチェーンに関する寄附講座をASEAN10カ国の主要な農業関連大学で開会し、これまでに49社から232人の民間講師を派遣し、1260人の現地学生が講義を受講。吉野家は本事業を通じて、すでに35人の外国籍人材を国内で採用して

### 2期協力企業募集

今後は講義に加え、大学と企業の共同研究やインターンシップ支援を通じて、より専門性を深めた事業展開を予定する。海外展開に重要な現地の優秀な人材確保のため、ASEAN食産業人材育成協会(afh)は民間の立場から採用活動や大学の連携強化などをサポートしている。現在は来年第2期目(18/20年)事業開始に向けて協力企業を募集している。

の調べによると届出済農産物数は野菜68種、果物50種。デリーの青果取引拠点では地面に野菜が並べられ、野菜や果物がトラックに豪快に積み込まれている。地面に座り作業する人々の横を、牛が突如横切る現場だ。衛生や管理状況は改善の余地が大きく、デリー政府は市場近代化を目的に19年、現市場から15km北に約80億円をかけた30haの新市場建設を予定している。

輸出規制が厳しく販売価格が約4000円(約7000円)と日本の約7倍。現在は高級レストランやホテルなどで、トランプやホテルなどで提供し富裕層向けに販売している。遠藤製菓は甘い豆を食べる習慣のないインドで、卵やチャイ、コーヒンなどあんなの相性の良さを強調し、新しい食文化を提案。糖原病大のインドでは、砂糖の使用を2分の1に抑えたいと、使用量を抑えるようかんがが注目を集めた。単独ブースを設けたカゴメ・フーズ・イン

期待が持てる市場だ。日印関係は、アサダが最も市場を重視した。市場は商人たちの長年の経験と信頼関係で成立している。現金取引が基本。約4000の商社が青果で取引を並べ、1日1000台以上のトラックが各州から農産物を運ぶ。年間取引額は数百万に及ぶ。取引量はリンゴ、ジャガイモ、玉ネギ、トマト、マーカーニック・インディアンゴー、バナナの順で多い。野村総合研究所

長は「自分の目で市場を確かめたかった。中国と同様に人口と富裕層が多いインドは今後期待が持てるが、流通と保管の問題が懸念材料」と語る。チョーヤ梅酒は3年前から販売を開始しているが、

谷合農林水産副大臣は3日に開かれた日本独自セミナーの開会あいさつで、「インド市場への輸出や投資の促進は今が絶好のチャンス。日系企業とインド企業のさらなる連携強化に期待したい。日本

「トマト革命」と銘打った大きなトマトを飾り、目をひくカゴメブース



日本酒への注目が高く、質問攻めに合う本田雅晴千代の園酒造社長



「トマト革命」と銘打った大きなトマトを飾り、目をひくカゴメブース



地面に座り、取引が行われる市場



## Sharing the JAPANESE FOOD to the world. 日本の食産業を世界へ



イオン株式会社



農林中央金庫



ヤマト運輸株式会社



雪印メグミルク株式会社



株式会社吉野家ホールディングス



味の素株式会社



株式会社ニチレイフーズ



株式会社JTBコーポレートセールス



株式会社パナソニック



不二製油グループ本社株式会社



株式会社日本食糧新聞社

当協会の活動へご支援・ご協力頂ける協賛企業・団体を募集しております。

afh(アフ・一般社団法人ASEAN食産業人材育成協会) 【お問い合わせ】担当:阿久津・内田 / Tel: 03-6680-2840 / E-mail: info@afh-jp.com / HP: http://www.afh-jp.com